

平成 31 年 1 月  
第 390 号



華やかなもち花を「丸森」に飾り  
皆様をお迎えしています



おもな内容

- ・新年のあいさつ … P2～P4
- ・干支コーナー … P6～P7
- ・景観先進地視察 … P8
- ・各事業 … P10～P12
- ・大湫中学備忘録 … P12～P16
- ・大湫町ニュース『十』 … P17

# 謹賀新年

あけましておめでとうございませす。  
皆様には、輝かしい初春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年、日本列島は大雪に始まり地震、台風にも猛暑などによる災害も発生し、今も不自由な生活をされている方々が居られることは忘れてはなりません。幸いにも当地域は大きな被害もなく過ごすことができ、改めてこの地域が安全で住みやすい地域で良かったなど感じた一年でした。

今年には平成の時代が終わり、新しい時代の始まりの年になります。私たちも気持ちを新たに地域の今日的な課題である、少子高齢化による人口減少や空き家・空き地・山林の管理、道路・公

園・神社仏閣等の公共的空間を管理する担い手を確保し、少しでも放置を解消していくことを目指した地域活動に取り組んでまいりたいと思ひます。

大湫町の人口は、転入対策委員会等の活動の積み重ねもあり、最近では毎年2パーセント程度の世帯増が続いており、一方、宿内においても市が整備した「丸森邸」を指定管理で運営していますが、年間一万人に及ぶ来訪者も迎えることができてきました。今後も宿内では「新森邸」が改修され来年には飲食店が開業される予定になっています。さらに大湫町が寄贈を受けた「米屋」についても若いご夫妻が定住され若い芸術家の交流の場、アーティストの情報発信の場、お試し住宅など大湫町をリデザインにつなげる基地として活用していただくことになっております。

このように私たちの町も少しずつでは

ありますが新しい動きが始まってきています。

今年の干支は己亥(つちのとい)内部の充実を心がけると良い年だそうです。

皆さんが地域の課題をしつかりと受け止めその解消につて真剣に考え行動に移すことが明るい未来を開いてくれると信じ、一致団結して頑張つていきましよう。

本年が皆様にとつて明るい幸せな年になりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

大湫町コミュニティ推進協議会

会長 小栗 司



「こそ」「から」できることを求めたい

公民館館長 長谷川 明

新年明けましておめでとうございます。皆さまには健やかに

新しい年をお迎えのこととおもいます。

今年の世相を代

表する漢字は、「災」でした。日本各地で

災害に見舞われました。地震災害は、大阪・北海道。北海道では全道が停電するような事態。西日本豪雨では、死者が二二〇名を超える大災害でした。

ここ大湫では人的被害が出る災害はありませんでしたが、台風による倒木被害が町内のあちこちで生じました。猛暑や渇水にも悩まされました。

政治の世界も大荒れ状態でしたが、

何よりも私たちの生活に直結する新たな法律が成立しました。命の「水」にかかわる「水道事業法」や「漁業法」「入管法」などの改正。今後「災」となりかねません。

森友文書改ざん、加計学園獣医学部新設、私大医学部の不正入試が問題となりました。

もちろん、フィギュアスケートの羽生選手の二連覇、本庶佑氏がノーベル賞を受賞し、大谷翔平・藤井翔太氏の大活躍など勇氣と誇りを与えられるニュースもありました。

翻って、公民館の活動はどうであったのかを振り返るとつつましいものです。ロビーを使用した展示も定着しつつありますが、いずれも町内諸団体と皆さまのご協力に支えられての諸活動でした。

ここ大湫においても少子高齢化の波を避けられないのが現状ですから、逆手にとつて、子どもの数が少ないから（こそ）できる企画、高齢者が多い（から）できる活動を一層追及することを皆さまと共に考えたいと思います。

公民館が地域の中心施設であることは間違いないこと。この施設が有効利用され、社会教育の一翼を担えるように区長会、コミュニティ推進協議会、「丸森」の皆さまと公民館関係者が協力し、共に本年を充実した年にしようではありませんか。

新しい年、二〇一九年も公民館活動にご協力とお力添えをお願いいたします。末筆ながら皆さまにとつてよい年となるよう祈念いたします。

丸森より



謹んで新春の  
お慶びを申し上げます  
施設長 玉置憲政

皆様の温かいご支援とご協力のおかげで  
3周年目に入ります。

休館日なしの運営はいろいろと大変ですが、  
この大湫宿を訪れる旅の人に喜んでもらえる  
ことが一番と職員一同頑張っています。  
今年もよろしくお願ひします。

### ① 地名の見方から

読み方	湫 (くて・ぐて) 久手 (くて・ぐて)
意味	湿地が多くて、水草の生えている土地、低湿地 *大湫(大久手)・・・大きな沼地 *長湫(長久手)・・・地形がくねくねして山坂や 狭間の多い土地 (長久手には小さな池も多い)
理由	数千万年前には、日本列島は海の底であった。 その後、火山活動によって隆起・沈降を繰り返し、 数十万年前ごろから再び隆起し、現在の瑞浪の土地 が誕生してくる。 土岐川流域で貝の化石が取れることから海岸線に、 そして少し奥まったこの大湫は周りを山に囲まれた 盆地(沼のような土地)になった。
同じ 湫の地名	多治見市高田町 長湫 愛知郡長久手町(現 長久手市) 大字 長湫 名古屋市緑区鳴海町 字 広湫 刈谷市小半城土町 字 大湫、字 中の湫 安城市福釜町 字 東湫、字 細湫 尾張旭市北原山町 鳴湫

\*参考文献は、渡辺俊典先生の「ふるさと大湫百話」及び  
瑞浪の歴史と市史資料編です。

丸森観光案内所では、訪れる人に大湫宿のよさを紹介しています。  
中山道の一宿場(47番目)ということもあり、最近では日本全国から、  
県内外から、遠く海外からのお客様が増えてきています。  
その人たちとの出会いを大切に、「地元」のことは地元の人から聞くの  
が一番」と案内に努めています。

# 1月の丸森からご案内

## “新春百人一首の集い”

丸森では「新春百人一首の集い」を計画しましたので、ぜひご参加ください。  
(見学だけでも結構です)

日時

第1回 平成31年1月14日(祝) 10時から11時ごろまで

第2回 平成31年1月20日(日) 10時から11時ごろまで

場所

大湫宿 丸森の和室

持ち物

特にありません。(百人一首等は用意します)

大人は一般用百人一首の  
100枚で競います。



子どもは五色百人一首を使って  
20枚ずつで競います。



\* 百人一首の「歌一覧プリント」を丸森に用意しますのでらいに来てください。  
年末年始に覚えてみてはいかがでしょうか。

問い合わせは、 大湫宿丸森 ☎ 0572 (63) 2455



## 干支コーナー

### 亥年を迎えるにあたり

神田地区：板橋仁晃

新年あけましておめでとうございます。

皆様方の幸多き一年である事をお祈り申し上げます。

今年亥年、私も六度目のこの年を迎えるにあたり、もうこんな年になったかと思いを深く感じています。この間、本当に色々な事が思い出されます。私は早くに父を亡くしたこともあり、母から「勤勉にまた努力する事」を教えられました。そして、地域の皆さんの温かいご理解により今日までこられた事、本当にうれしく感じている毎日です。ただ残念な事は思い出の小学校・中学校ともに無くなってしまいう事です。本当に残念です。

現在内孫3人外孫4人に囲まれ、孫の笑顔に癒される充実した毎日を過ごす事ができています。これからも家庭を大事に健康に留意して町の為、微力ではありますが少しでも頑張られればと思います。今後ともご協力を心よりお願いいたします。

“今年亥年男 頑張ります”

### つぶやき爺ざれごとの戯言

北地区：吉野信幸

私もとうとうこの年になってしまったかア。全く1年がアッと云う間に過ぎてしまう。年に逆らって何とかお爺さんではなく、気持ちの上ではいつまでも男でありたいと思っているが、体の衰えは隠せず、傍らから見れば紛れもなく立派なジジイである。

仕事をやめてから長くサンデー毎日の生活をしているせいか、年と共に世の中の動きに関心が薄れ、この頃は時代に取り残されつつあるような気がしている。

我が家の家内も2ヵ月程前、念願のスマホに替えてみたものの、サッパリ使い方が分からず、小学生の孫に操作方法を覚えてもらう始末である。そういう私もよくニュースに出て



くるSNSとかブログとかユーチューバーとかツイッターとか興味がないためよく分からず、頭の中までガラケーのままである。

しかし、ツイッターなんて、昔流行った「つぶやきシロー」みたいで、小中学生ならいざしらず、どこかの大統領がツイッターで物言うとはあきれてしまう。これでは一方通行の言いつ放し言いたい放題で、対話にはならず一国主義の象徴のようだ。

ともあれ、そんな中で次の時代を予感させる関心事は人工知能AIだ。AI技術はロボットなどの製造業だけでなく、農業や医学など日常生活に広く活用されていく時代に入りつつある。

あと10年もすれば人間死んだら葬儀場まで無人運転の霊柩車で運ばれ、焼かれた後は遺骨をドローンで届けてもらう時代が来るかも。ヤダ、ヤダ。

## 住めば都

### 西地区：小栗由加里

大湫へ来て5度目の冬を迎えました。大湫の冬は本当に寒いですね。初めて大湫へ来た時、本当に家に辿り着くのか心配になりながら車に乗っていた私ですが、今ではそんな道のりにもすっかり慣れ、遊びに来る友人や親戚に「すごい所だね！」と言われる側になってしまいました。確かに都会のように色々な施設はないですが、自然豊かで、人にも恵まれた環境だと思っています。

ありがたいことに二人の子どもを授かり、日々子育てに追われています。

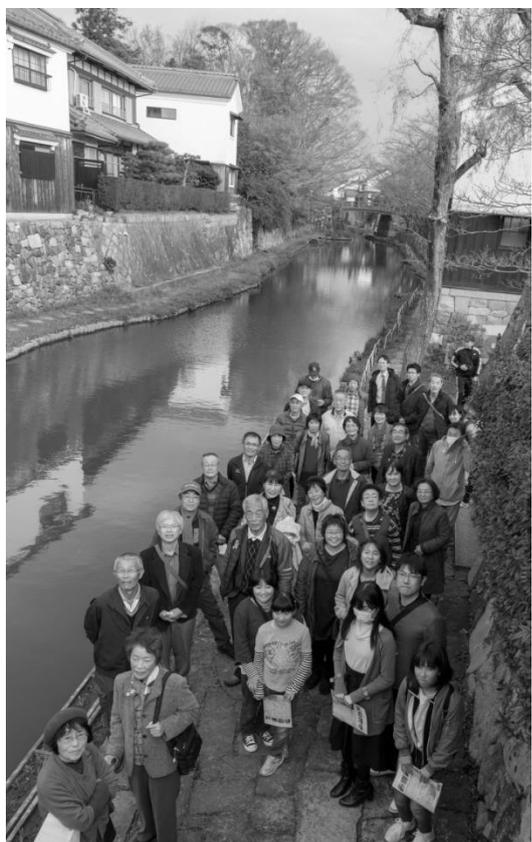


近所の人と声を掛け合ったりすることが難しくなってきた昨今ですが、散歩していると声をかけて下さったり、危なくないよう見ている下さったりと、困った時に助けてもらえて、ありがたいと思っています。近くには

頼れる優しい家族や仲良くしてくれる友人もおおり、楽しく子育てできていることに感謝しています。

これからもご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かく見守って下さると嬉しいです。

滋賀県へ景観先進地の視察に行きました。(12月1日)



視察先：滋賀県近江八幡・東近江市  
参加者：33名

(アンケートで出された意見抜粋)

- 大湫町でも様々な面で改善がされることを期待します。
- 空き家対策が必要だと感じました。
- 景観に協力してくれるよう話し合いが必要。
- 大湫町でも電柱の修景がしてほしい。
- 雰囲気にあった色などで統一したほうがいいと感じた。
- 住人用駐車場の確保が必要。

たくさんの方にご参加いただき、  
ありがとうございました。

景観事業についての問い合わせ

瑞浪市 建設部 都市計画課 棚橋・三浦

☎0572-68-9817

# 大湫町街なみ景観形成事業補助金にて

大湫の景観保存のために、大湫宿の特徴や現状の把握を話し合ったり、最近では景観先進地を視察したりと活動しています。その第1弾として「門田屋面格子取り付け」を行いました。

中山道に面した窓に街なみに合った面格子（棚橋雅美氏旧住宅より取り外したもの）を取り付け、二階の虫籠窓とマッチした住宅となりました。



(ビフォー)



(アフター)

## 野田(中井溝)に粋な計らいが・・・!

野田に丸太椅子が4カ所に休憩用として設置。散歩する人や観光で見た方など野田を通ると何もなく草むらに座って休憩される方に粋な計らいがされました。



これぞ、大湫宿の

お・も・て・な・し…!!

ここに座って一休み  
してちょおだあよ…



いいねェ・・・  
さすが、大湫だなあ



犬のフンはちゃんと始末  
してよ。景観考えてね…!

## H30 年度緑化推進事業 12/2 (日)

旧大湫小学校跡地に緑化推進事業の一環として、シダレザクラ・サルスベリ苗木を植えました。



作業に参加された皆さん、お疲れ様でした。この先、見頃となるのは何年後でしょうか？お楽しみに・・・。

## カバースランツ(彼岸花)追肥作業 12/6 (木)

9月後半に計画していましたが、さまざまな行事に追いやられようやく師走に入り実行することができました。前日までの2日間は12月とは思えない程のぽかぽか日和でしたが



6日は天気予報では寒くなり雨も予想され心配しました。しかし、さほど寒さを感じることなく雨が降り出す前に作業を終了することができました。参加して下さった20名の皆さんお疲れ様でした。



80歳で20本以上残そう！

『表彰』

〇、人権書道  
コンテスト  
入賞 5年 A・Yさん

〇、瑞浪市健康まつり  
標語の部  
金賞 6年 O・Yさん  
入賞 4年 W・Tさん

〇、8020表彰  
(80歳以上で20本以上自分の  
歯がのこっている方)

大竹 晃 さん



皆さん、おめでとうございます  
っげいます

## 大しめ縄飾り 12/16 (日)

霜が降り厚い氷が張り、さすがに師走の大湫は寒い。そんな年の瀬の日曜日に「この伝統を絶やしちやいかん」と男衆が集まり、恒例となった公民館の“大しめ縄飾り”が8時から行われました。



最初にムシロを編むようにコモを編みます。とても根気のいる作業です

さあ、みんなで力を合わせてしめ縄を持ち上げます。頑張れ・・・



立派な“大しめ縄”の完成です!!



完成したコモに藁を入れて、それを3本つくり編みます。太いところでは直径50cmもあるんですよ・・・!!

設置後、藁シテかざりを取り付けます



来年は、もっと多くの若者も参加してくれる事を願います。

「参加された皆さん、お疲れさまでした」

## 門松づくり 12/20 (木)

大湫公民館・丸森・ふれあいセンターの門松を今年も汗を流しながら作っていただきました。ありがとうございました。

**\*速報：おりべチャンネル  
おりべ情報局「マイクマンと宝探し」  
1月5日～1月11日（1日5回）  
「放送されます。見てね!!」**



大しめ縄（注連縄）に門松が飾られ、大湫公民館は皆様の御陰で年越しの準備ができました。感謝します！



### 注連縄の寄付

岐阜県神社庁瑞浪支部より大湫公民館に注連縄の寄付があり、玄関に飾り付けました。「ありがとうございました」

## 大湫中学備忘録（7）

### 1. ヤンチャ、でも素朴な生徒たち

「先生が教室の戸を開けると上から黒板消しが落ちる様に仕掛け」、チョークの粉で服が白くなることを想像していても、簡単には成功しません。仕掛けがばれ、こっぴどく叱られることもありました。

チョークを投げる先生、怒ってさっさと出て行った先生もありました。「若い女の先生には興味もあり、悪ふざけをしたり、先生の自転車の空気を抜いたり」と、イタズラが時には度が過ぎることもありました。そんな時は、頬が赤くなるぐらい「先生からいやという程往復ビンタ」をもらうこともありました。それでも、先生の愛情を感じていました。親に話せば「おまえが悪い」と逆に叱られたのです。

大湫中学の生徒たちの遊びはおおらかでした。

「フタツ岩の上につっこう大きな堤が有りました。そこで犬かき、平泳ぎ、立ち泳ぎ、などの真似事を覚えて、大得意、唇が紫色になる迄一杯遊んだ後、まずその辺の小枝を折って、パンツのゴムの所に十の字に入れて、それを、

枯れ木とか長い棒に引っかけ、肩にかついで、乾かしながら帰ったものです」(昭和三三年度卒金子(旧姓井上)智寿子)。

「夏休みには、堤に泳ぎに行く事でした。ドラム缶で作ったイカダが、堤の真ん中にあり、それで遊び：キュウリと塩を持って行って食べながら帰る」(昭和三四年度卒長谷川達二)。

「田んぼに水を張って、スケート場を作り、体育の時間などに下駄スケート」(昭和三三年度卒桐井早苗)。

「大きな岩がたくさんあった。頂上の大きな岩に立てば遠くの山並みが美しく重なって見えた」(昭和二八年度卒小木曾(棚橋)小代)「昼休みになると裏山に登り、よく歌を合唱した」(昭和二九年度卒近藤貞子)。

大湫の豊かな自然の中、のどかで、素朴、天真爛漫で、たくましい中学生たちでした。昭和二二年か十四年間、中山道沿いにあった大湫中学。昭和三六年に閉校し、釜戸中学に統合しました。学校の統合は時の流れ。合併先の釜戸中学も今年(平成三一年)の三月、三校が一緒になった新しい中学校に統合します。

「平成の大合併」で行政区が様変わりし、学校の合同・

合併も時の流れ。少子化がその「流れに棹さす」ことになっていきます。学校がなくなるとは、地域の基盤を失うようなものです。廃校利用で村おこしや町おこしに成功した事例も報告されていますが、それは大勢ではありません。一層過疎化に拍車がかかってしまうことも少なくないようです。

大湫中学は今もその一部が大湫病院の(今は使用されていませんが)一部として残されています。

## 2. 町民・保護者で守り育てた学校

「県内一の小村」に中学校建設を実現させたのは、森川清爾校長の尽力であったことは疑いもないことですが、村民の協力なくしては実現しませんでした。大湫小学校の一部を借りて、五月五日に大湫中学開校式を迎えると、その月の八日、「新制中学建設委員を決定」します。建設場所が決まると「生徒・村民が一丸となって敷地・運動場の造成等の勤労奉仕作業」(『瑞浪市史 近代編「教育」』)により校舎建築の後押しをしました。

「昭和二十六年度の特筆すべきものは運動場の拡張で従来の約二倍の面積に村民の奉仕作業によって」(『沿革

史』完成します。この年度と前年度は全校生徒が一〇〇名を越えたこともあり、体育の授業や放課後の活動においてもグラウンドの拡張は望まれていたことでした。

寒さが身に凍みる冬期に入ると「味噌汁給食」が始まります。

「村の人たちが交替で毎日材料持参で味噌汁を作って下さった」

(昭和二十八年年度卒小木曾(棚橋)小代)。「味噌汁給食」は保護者の奉仕活動によって支えられていました。昭和二九(一九

五四)年の記録によると、一月十八日に始まり三月十二日まで、

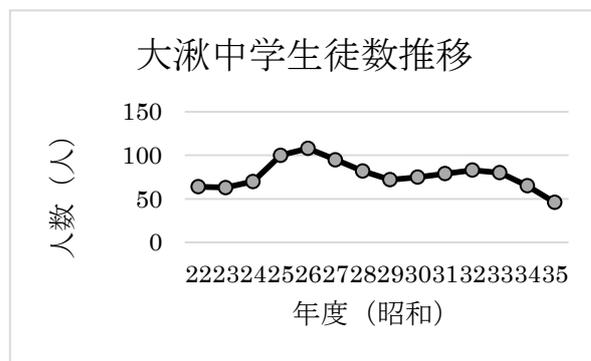
「味噌汁給食」がおこなわれています。「育友会」の奉仕

でした。

「味噌汁給食」の「はしりといえるものが昭和二年度より明世尋常高等小学校」においておこなわれています。

「昭和二年の文部省調査によると、全国で九十三校しか実施されていないが、その内二十八校が岐阜県」でした。

戦前おこなわれていたこの「味噌汁給食」が大湫中学の味



噌汁給食へと受け継がれていったのです。

昭和三二(一九五七)年の田植えが終わり一息ついた五月二三日、育友会会長の安藤鎮男ら役員と学校長が出張に出かけました。出張先は愛知県知多郡山野浦海水浴場(現知多郡美浜町小野浦)。大湫中学は夏休み野外学習として登山や臨海学校をおこなってきました。

この年、八月三日から三日間、全校生徒を引率し「臨海学習開設」が予定されていたのです。しかし、二泊三日の臨海学習に出かけるには家計の負担も大きく、保護者の理解をうることも必要でした。この出張には、もう一つ重要な意味がありました。数年後、大湫中学に入学する生徒数が減少することが明らかとなり、教育委員会からは釜戸中学との合併の意向が梅村七郎校長に伝えられています。もちろん、このことはいわばトップシークレット。

やっと話す機会を得た梅村は育友会役員に「釜戸中学と合併の話があるらしいんだが」と。育友会役員らは驚き「えっ。一体なぜ」「それは承服できませんな」。あまりにも強い反対の意志表示に梅村は驚き、話はそれつきりとなりました。その後も「統合」が話題となることはありませんでした。

それから二年経った昭和三五年度の育友会会長は赤岩義勝。この年の十月二十日、会長と和田光郎は合同視察旅行に出かけました。旅行中の夕食時、和田校長は育友会会長に重い口を開き、「実は、来年度から釜戸中学と合併することになったのだが、育友会としても賛同をいただきたいのだが…」と切り出しました。赤岩は「私は合併には賛成できませんよ。反対ですね」と、すこし声を荒げた意思表示でした。「育友会として皆さんに計らない」とも付け加えます。座がしらけ、それ以上話しは続かず、そのままとなりました。

帰校後、まず育友会役員の間で話題となり、徐々に保護者から町民の間に広まり、数名が集まると合併の話題となりました。学校では今まで通り行事が執りおこなわれ、十二月になるとテレビ受像器が取り付けられ、生徒たちは大喜び。二月八日に低鉄棒、三月五日、「バスケットボール取付け」。これらの工事で生徒や保護者には合併の話がよそ事のように、身近なものとは思えませんでした。

学校統合に関する町民大会が開催されたのは、三月十七日。町民大会は紛糾しました。「中学校の統合は仕方がないとしても、小学校は何があっても残すと約束を…」と

迫る発言もありました。「やむを得ない」と町民が涙をのんだ理由は生徒数の減少でした。昭和三五年度の全校生徒数は四六名まで減少しています。教育には「切磋琢磨することが大切で、一定の生徒数が必要」だと言われると、子どもの将来を考え、葛藤し断腸の思いで承諾することになったのです。

町民大会で統合が決定されると、慌ただしく統合の準備が進みます。三月三十日に学校備品の受渡。生徒たちは机と椅子を手で持って「釜戸道」を下ったのです。釜戸中学の生徒たちも迎えに来て、一緒に運んでくれました。統合に少し不安のあった大湫の生徒たちは、ホッとした思いになりました。「統合記念式」は、翌二一日。翌日は四月とは言え、大湫は寒く、この日も最高気温は十六℃。日差しがあることが救いでした。

ここに十四年間の大湫中学がその幕を閉じました。廃校です。大湫中学校の最後の一年間、校長を務めたのは、



和田光郎氏

大湫小学校長から大湫中学校長に赴任した和田光郎。大湫の事情を把握されて、締めくくりの校長としては的を射た人選だったと思われます。

釜戸中学での統合式は四月六日、九時から。釜戸中学の生徒代表原田美紀子さん、大湫中学は安藤則通君（当時三年生）がそれぞれ挨拶しました。大湫中学生、四五名が拍手で迎えられたのです。

### 3. 補遺

釜戸中学の誕生から廃校まで、お付き合いいただき有難うございました。文中に登場する教員や人生の先輩方に敬称も付けず記載しましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。この「大湫中学備忘録」をまとめるには『沿革史』が大きな助けになりました。『沿革史』は大湫中学第四代校長の桑原三郎氏によってまとめられ、その後も引き継がれて廃校まで克明に記録されました。

写真の提供と校歌の楽譜を提供いただいた天野辰代氏、帽章では安藤則通氏、校歌を歌っていただいた三浦順三氏、その他、天野長三郎氏、赤岩紀氏、足立亘氏、大竹節子氏、木村良子氏、棚橋和代氏、渡邊英二氏など多数の皆さんから数々の情報をいただきましたこと、この場を借りてお礼申し上げます。

『追憶 我が母校』『瑞浪市史 近代編「教育」』『大湫

小 百三十年の歩み』『瑞浪のふるさと人物史』などを参考にさせていただきました。

文責はすべて長谷川明にあることを申し添えます。（完）

参考・歴代育友会役員

一九四七（昭和二二）年	三戸 庄次郎
一九四八（昭和二三）年	奥山 進
一九四九（昭和二四）年	桐井 津意知
一九五〇（昭和二五）年	安藤 鎮男
一九五一（昭和二六）年	奥山 進
一九五二（昭和二七）年	三戸 庄次郎
一九五三（昭和二八）年	武田 貞明
一九五四（昭和二九）年	村田 太一
一九五五（昭和三〇）年	安藤 鎮男
一九五六（昭和三一）年	安藤 鎮男
一九五七（昭和三二）年	安藤 鎮男
一九五八（昭和三三）年	赤岩 義勝
一九五九（昭和三四）年	棚橋 二郎
一九六〇（昭和三五）年	赤岩 義勝

（副会長）三輪 七郎  
（副会長）加藤 あきえ



（三戸憲和氏作：竹細工による大湫中学校）

## 平成三十年・大湫町ニュース『十』

一、十二月末、丸森邸が大湫宿の目玉施設となって二年目、入館者数が初年度には一万人、二年目の末には二万人を超える。玉置施設長や温情をもつて接待する職員に感謝の声が寄せられた。

二、四月一日、大湫コミュニティ推進協議会に委託運営となった公民館も「案ずるより産むが易し。」意欲的な長谷川館長を迎え、ともすると火の消えてしまう様な町の公民館活動に、活力が出て来た。

三、六月三日、市の「夢づくり地域」事業の適用を受け、本陣山の登山道づくりが始まった。第一回目の作業に二十五名もの参加があり、心強く思った。

四、三月二十四日、環境省の「モニタリングサイト一〇〇〇」で、大湫の里山調査を大湫町自然保全委員会

が、五年間かけて実施することになった。

五、七月二十九日、財産区議員の改選が行われた。三期十二年議長を務められた三浦順三氏が退任、三戸憲和氏が就任された。

六、十一月十日、十一日の二日間、旧大湫小学校グラウンドで「オオクテ・ツクルテ」開催。陶芸を志す若者の作品や趣味の作品が並べられ、約二五〇〇人が来訪した。

七、四月十七日、河端彩谷氏（足又在住）が、現代茶陶展において「綾部優秀賞」を受賞された。

八、四月十四日、花の森の再整備事業の完成式と、観桜会が開催された。

九、十一月四日、お寺（宗昌寺）の晋山式が行われ、近隣の僧侶や町内外より稚児の奉賛もあつて宿内はにぎわった。

十、三十年吉日、転入対策委員会の骨折りで空き家に電気が灯り幼児の

姿が見られるようになった。嬉しい事である。

【余文】 人生には嬉しいこともあれば、悲しい事もある。高齢化が進むにつれて、施設に入所する人が多くなつて来た。

飢えに苦しんだ時代の「姨捨山」の話も今では考えられない。至る所に介護施設がつくられ、誰もが安心して老後を送ることが出来る時代になった。大湫が気に入って、十七年間第二の故郷と決めていた渡辺和隆さん一家が、長男一人を残し母親の面倒を見るために転出された。

よく「ボランティア」が多すぎるとも聞く。大湫に住んで二・三年で消防団加入を要請される事例もある。明るく楽しい町づくりのため、区長会始めコミュニティ関係者に検討していただき、新しい年の門出としたい。

文責 天野長三郎

# サンタさんがやってきました！

大湫子ども会の皆さんと町の行事にボランティア登録をし、協力してくれた中高生の皆さんに良いお知らせです。閉校へのカウントダウンが100日を切



ってしまった釜戸中学校。ますます子ども達が遠くへ行ってしまおうようで寂しいです。少人数でも大湫の子ども達は、町の行事をいつも頑張って盛り上げてくれます。そんな子ども達にサンタさんからささやかなプレゼントが送られましたヨ。

“みんな、これからもよろしくネ！”

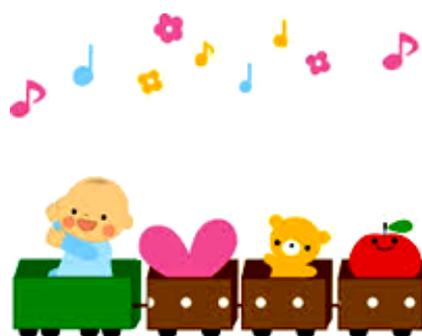
## 赤ちゃん誕生

おめでとうございます

9月21日 長女誕生

父親 T・Y さん

母親 T・Y さん



リ・アップ “ひよも” だより

1月のお茶のみ会のおさそい

日時：1月9日（水曜日）

9：30～11：00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

—— お待ちしています ——

## 一月の俳句

枇杷の花夕べの闇を匂ひけり  
習ひ事の一つを退きて花入手

山口雪子

漱石忌家計簿本屋で買ひにけり  
山茶花や何でも買へる過疎の店

天野辰代

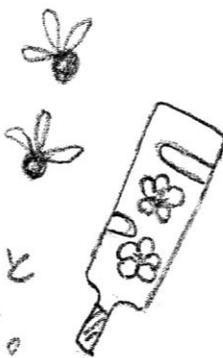
（漱石忌とは、夏目漱石の命日で十二月九日）

せうしあ H31  
1月の集まるう会

大塚町コミュニティ  
推進協議会  
集まるう会

新年 あけましておめでとう  
ございます

子どもと一緒に遊んだり、活動したいと  
思います。どうぞよろしくおねがいます。



★ 太鼓は.....

○お多ら、のワークショップとミニコンサート今年もやります。

日時：2019年8月12日(月・振休)お楽しみに!!

○次回の練習日(昼間) 3月2日と3月16日 午前9時半～  
～集まるう会の日と一緒にです～

○夜の練習日 3月4日(月)午後7時～8時

○12月15日の練習日は、みんながガラス拭きをしました。  
日頃の感謝を込めて。

○みばさんの一口感想 (12月15日)

◇みんなが集まれるのがうれしい。楽しかった。

◇家でも太鼓の曲を歌っているよ。

◇親といっしょやと子どもは、うれしいね。

◇来年もこうゆうやり方で、続けられるよね。

◇お多ら、が来てくれるから、がんばれる。

◇来年もみんなが、やっていこうよ。

「募集」一緒に太鼓をやりませんか。いつでも誰れでも  
大歓迎です。みんなが教え合ってやっています。  
気軽にどうぞ!!

# 大湫コミ・公民館からのお知らせ

<p>オススメ！大湫分室の本 『極めつきの「美味しい方程式」』 野崎洋光：著 8：8：1。この比率は八方出汁と 言われるだけにいろいろな料理に使 うことができます。簡単にできる味 の仕組みの方程式を紹介。ぜひ、お 試しください。</p>	<p>ご招待券あります（各2名様） 企画展 「たかが旅、されど旅 —山海道之記実見—」 期間：平成31年1月20日 会場：中山道広重美術館 *詳しくは大湫公民館まで ☎63-2360</p>
<p>*大湫宿お休み処 1月は休業中です。</p> <p>*おしゃべりサロン「こぶし」（100円コーヒー） 1月営業日 第2・第4土曜日 営業時間 AM9：00～AM11：00 営業場所 ふれあいセンター</p> 	
<p><u>デマンド交通</u> 利用者 (大湫～日吉東部) H30年11月 51便 延べ99名</p>	<p><u>青色回転灯防犯パトロール</u> 1月のパトロール予定者</p>  <p>1/上旬：玉置憲政,大内延男 1/下旬：三輪勝彦,安藤則通</p>
<p><u>瑞浪市議会議員選挙の投票所入場券について</u></p> <p>平成31年1月27日告示、2月3日執行の「瑞浪市議会議員一般選挙」 について、1月28日（月）から期日前投票ができます。</p> <p>一部地域では、1月28日に投票所入場券が届かない可能性があります。</p> <p>入場券が届いていない場合でも、選挙人名簿で確認できれば、期日前 投票ができますのでお知らせします。</p> <p>お問合せ先：大湫コミュニティーセンター 63-2360</p>	

## 区長日記

平成最後の師走も、慌ただしい中に過ぎ去って行きます。日本の原風景として心温まる大湫町の景観も、日常的な町民の営みにより更にブラッシュアップされていくことが期待されます。

大湫町景観協議会では、瑞浪市都市計画課のお骨折りにより、景観先進地の滋賀県東近江市五箇荘金堂（重要伝統的建造物群保存地区）の視察研修を三十余名の参加者を得て実施いたしました。行政の関わり方や保存地区の規模には大きな違いがありましたが、歴史的景観をまちづくりに活かしていく志しには共通のものを感しました。また、三次元的に立体感のある大湫地区の景観には改めて魅力を感じました。

私たちとしては、豊かな歴史と自然を持ち味としてまちづくりを進めてきた大湫町に、物づくり（芸術活動）という新たな個性を加えて、いつてみたい大湫から住んでみたい大湫へと脱皮して行きたいと思えます。

さあ新しい年がやってきます。今年も干支の猪に負けな

いよう力いっぱい前進して行こうではありませんか。

区長会長 足立

- 12月1日 景観協議会（滋賀県）視察
- 2日 大湫小学校跡地植樹・花の森道路整備
- 3日 ボランティアガイド細久手宿調査
- 6日 カバープランツ（ヒガンバナ）施肥事業
- 7日 大湫区長会・幹事会
- 9日 多面的機能足又ため池工事
- 10日 瑞浪市防犯推進の会特別警戒
- 11日 交通安全週間早朝街頭指導
- 13日 中仙道ゴルフ倶楽部懇談会・登山道看板検討会
- 14日 観光景観林整備事業現地立会
- 15日 多面的機能足又ため池工事
- 16日 大湫公民館御注連縄づくり
- 19日 釜戸中学校閉校委員会
- 28日 消防団年末特別夜警
- 31日 越年マラソン（年越しそば）



平成三十一年一月行事予定

日	曜	予	定
一	火	*元旦	
四	金	仕事初め	
五	土	伊勢神宮初詣（～六日）	
六	日	市出初式	
七	月	財産区全員会議	
八	火	定例区長・幹事会 幼・小・中学校始業式	
九	水	リ・アップ「ひよも」	
一二	土	おしゃべりサロン 転入対策委員会	
一三	日	成人式／大湫・神田地区どんど 焼き／西地区・北地区新年会	
一四	月	*成人の日 第一回百人一首の集い（丸森）	
一九	土	足又地区どんど焼き・新年会	
二〇	日	第二回百人一首の集い（丸森）	
二三	水	山びこどん（竹箒材料選定作業）	
二六	土	おしゃべりサロン	
三〇	水	広報委員会	

今月の資源ごみ: 1/23(水) 不燃ごみ: 1/8(火)



編集後記

『賀正』

小さな山里の広報誌ですが、沢山のご支援・ご協力に支えられ、そして、「広報大湫」に寄せられる皆さまからの原稿に感謝いたします。今後も、「アットホーム」な人情味あふれる情報誌として、皆様と共に歩み続けたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願ひします。・・・y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会  
 平成31年 1月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360  
<http://okute-shuku.in/>